

安芸県税事務所長賞

「税について」

室戸市立佐喜浜中学校 三年

小松 由季

私はいつも買い物をする時、「何で消費税なんかをはらわないかんが」と思っていました。できれば出したくない。という考えでした。

そもそも、どうして税を取るのか、その税の使い道はなんなのか全く知りませんでした。そして、授業で習ったりお母さん達に話を聞いて使い道を知りました。

まずは、病院での医療費です。自分の納めている税が他の人の助けになっていると思うと、五円や十円がとても安く感じます。

もし自分が入院した時も税が助けてくれるのならとてもありがたく必要に感じます。

他にも、道路の整備や被害のあった所の支援などたくさんの使い道がある中、一番おどろいたのは自分たちの教材に使われている事です。

教科書は勉強をしていく上でやっぱり必要だと思います。でも新学期、いっぺんに何十冊もくる教科書のお金を払うのもたいへんです。だけどそれも税によるサポートでタダだと思えば本当は税はありがたいと思います。

今、自分のもっている教科書が全国の人からの税だと思えば大切にしていきたいです。

税というものは最初嫌なイメージしかなかったけど、いろんな事を知っていくうちに、必要不可欠なものだと思いました。

自分の払う消費税が、人のためになり最終的には自分のために活やくしてくれます。

これから買い物をする時、「払わないかんもん」という考え方ではなく「自分達のために」という思いで払えそうな気がします。今、私は消費税という形でしか税にはかかわりが無いけどいつか、もっと大きながくの税金を払うようになると思います。そのときも今もっている様な気持ちで納めていきたいと思います。

でも、実際今の日本では、税金を納めなかったり、税金のがくをごまかしたりする人がいます。私はその人達もいつか税のありがたさが分かり納めてくれる日がくると思います。そう願って私も、税を払い続けていきたいと思っています。